



リハビリ便り



退院後の不安に対応するの「退院前訪問」です。

- ・家で転ばないか心配
- ・退院後の生活が想像できない
- ・何を準備したらいいかわからない
- ・自分が行う生活動作が自宅でも行えるか不安など

寒い日々は続きますが徐々に、暖かさを感じる季節となりました。体調に気をつけながら、お過ごし下さい。
今回は、回復期リハビリ病棟での退院前訪問についてお話しします。

退院前訪問とは

患者さんと一緒に退院先へ行き、動作の確認や福祉用具の設置や使用、住宅改修の検討などを行います。
リハビリ職員以外にもケアマネージャー、相談員、福祉用具業者などが同伴します。それぞれの専門性を活かして、退院後も安全に生活できるよう検討していきます。



【目的】

- ・退院後の生活環境を確認
- ・現在の身体機能、動作能力と自宅環境の適合性の確認
- ・転びやすい場所や動作がしにくい場所を確認し改善策を検討

実際の場面

左の図は、実際に自宅へ行き、手すりや段差の工夫を行った写真となります。
元々は何も持たずに歩いていましたが、今回の入院で歩く際に、ふらつきやすさが見られたため据え置き式の手すりを設置しました。



おわりに

住み慣れた退院先で暮らしたとしても安心して戻っていただけよう、私たち退院前訪問を通して、患者さんやご家族さんのお気持ちに

お知らせ

訪問リハビリテーション

生活の場にセラピストが伺いリハビリを行います。在宅で実用的な生活動作訓練や、自宅環境の調整、生活内での運動の習慣付け、家族指導等行います。

問い合わせ先：リハビリテーション課 担当者：安東

電話：0570-034577（代表）

ご不明な点など、まずはお気軽にご相談ください。または、担当のケアマネジャーなどへお問い合わせ下さい。



（作業療法士 賀来・井上）

寄り添いながら準備を進めていきます。皆様、その人らしく、笑顔で毎日過ごされるように、これからは支えてまいります。